

知的障害教育におけるキャリア教育の在り方に関する研究(3)

— 個別の教育支援計画における「本人の願い」の把握と支援の充実を図るためのツールの開発及び試行 —

○大崎博史 菊地一文 井上昌士 猪子秀太郎 小澤至賢 涌井恵 木村宣孝* 柴田琢磨** 渡部英治*** 木本恭嗣****

(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所) (北海道伊達高等養護学校*)

(北海道星置養護学校**) (島根県立松江清心養護学校***) (静岡県立浜名特別支援学校****)

KEY WORDS: キャリア教育 個別の教育支援計画 本人の願い

1 目的

特別支援学校高等部学習指導要領 (H21.3告示) に「キャリア教育」の文言が明記され、特別支援教育でも早期からの組織的な取組による、キャリア教育の推進が求められている。

本研究では、①幅広い実態の児童生徒への適用を視野に入れ、ライフキャリアの視点から「キャリア発達段階・内容表(試案)」の検証及び改善を行うこと、②学校現場におけるキャリア教育の推進及び充実のために「キャリア発達段階・内容表(試案)」の活用のためのツールと実践モデルの提案等を目的とした。本稿では、「キャリア発達段階・内容表(試案)」の活用方策の一つとして、個別の教育支援計画における「本人の願い」の把握と支援の充実を図るためのツールである「本人の願いを支えるシート」について報告する。

2 「本人の願いを支えるシート」の概要

(1) 「本人の願い」の重要性

「本人の願いを支えるシート」は、現在、各学校が作成している個別の教育支援計画に本シートを位置付け、本人の夢や希望を把握し、その実現を目指すものである。

キャリア教育において「本人の願い」が重要である理由として、キャリアはこれまでを活かした現在における自己決定だけでなく、未来に向けての「ありたい」、「なりたい」といった「願い」を含むものであることが挙げられる。本人の価値観と自己決定、将来展望が大きく関係する「本人の願い」を支えることは、「キャリア教育」の中核と言える。

(2) 「本人の願いを支えるシート」について

「本人の願いを支えるシート」の様式を図1に示す。

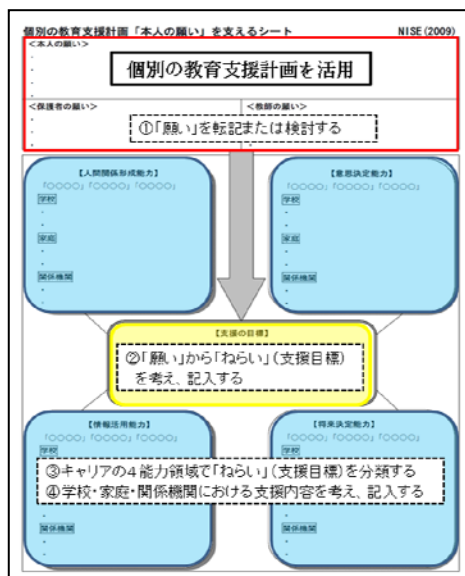


図1 本人の願いを支えるシート

(3) 「本人の願いを支えるシート」の記入手順について

「本人の願いを支えるシート」の記入手順は、以下の4段階の過程を経て記入し、実際の支援について検討する。

① 本人の「願い」の把握

最初に、各学校で作成している個別の教育支援計画に「本人の願い」欄が位置付けられているかを確認する。「本人の願い」が位置付けられていない場合や再把握が必要な場合には、「本人の願い」を把握することから始める。

② 本人の「願い」に基づく「支援目標」の設定

次に、本人や本人と関係の深い支援者が複数の目で「本人の願い」を検討し、それを実現するための支援目標を立てる。その際、カナダのForest, Mら(1991)が提案したPATH(Planning Alternative Tomorrows with Hope: 希望に満ちたもう一つの未来の計画)の手法を参考に、「幸せの一番星」を目指した、現実的な支援目標を設定する。

③ キャリア教育の視点による「支援目標」の分類

次に、本人や本人と関係の深い支援者が、「キャリア発達段階・内容表(試案)」(NISE, 2008)に基づき、「支援目標」について、キャリア教育の視点で4能力領域、17観点に分類する。

④ 支援内容の検討

最後に、PATHの手法を参考に「本人の願い」を支える支援者をリストアップし、記入した「本人の願いシート」の活用により、それぞれが行う支援の在り方や具体的な実際の支援内容等について検討する。

3 「本人の願いを支えるシート」の試行と評価・考察

2010年1月、A特別支援学校において「本人の願いを支えるシート」を活用したワークショップを試行し、その結果から「本人の願いを支えるシート」の活用効果として、以下の3点が確認された。

第1に、本シートと個別の教育支援計画と組み合わせることで「本人の願い」が再確認できることである。

第2に、本人を支援する関係者が一同にシートを作成することで、「本人の願い」を中心に据えて、関係者の連携・協力の下に包括的な支援できることである。

第3に、「本人の願い」を把握することで、キャリア教育における本人主体の「生き方」への支援を改めて考えることができることである。

このように、本シートの作成と活用により、真の意味での「本人の生き方」への支援に近づくことが可能になるのではないかと考える。今後、本シートの活用事例の蓄積により、その効果と課題について検証したい。

文献

国立特別支援教育総合研究所(2010) 知的障害教育におけるキャリア教育の在り方に関する研究 研究成果報告書。

国立特別支援教育総合研究所(2008) 知的障害者の確かな就労を実現するための指導内容・方法に関する研究 研究成果報告書。

(OSAKI Hirofumi, KIKUCHI Kazufumi, INOUE Masashi, INOKO Hidetaro, OZAWA Michimasa, WAKUI Megumi, KIMURA Nobutaka, SHIBATA Takuma, WATANABE Eiji, KIMOTO Yasushi)